



東京清掃労働組合  
千代田区飯田橋3-9-3  
TEL (3237) 9995  
1部20円

編集責任  
企画・総務局  
萩原 崇氏

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第93回  
定期大会  
を開催

山積した課題克服のため、  
組織の「総団結」を

中央執行委員長就任にあたって

# 全職員の賃金水準の改善を

## 職務・職責に見合った人事・給与制度の確立を求める

第93回  
定期大会



▲圧倒的な信任を得て新体制スタート



▲来賓の方々



▲満場一致で承認

わが組合は3月19日、連合会館にて第93回定期大会を開催しました。2023年度運動方針案などすべての議事が満場一致で承認され、今後一年間の闘う体制を構築しました。

今大会においても、出席者を制限しコロナ対策を施したうえで開催となりました。

大会は議長団に港支部坂巻代議員、文京支部飯田代議員を選出し始まりました。主催者を代表して江森委員長、特区連籠谷書記委員長の挨拶では、「トルコでの地震に対してのお見舞いと今後の支援」「ウクライナ侵攻」「安保関連3文書の閣議決定」「春闘情勢と秋の確定闘争に向けた今後の課題」等に触れられました。また4月に予定されている統一自治体選挙では、推薦候補全員の当選に長から、会計監査報告は朝

部会計幹事から、渡辺書記次長からは2022年度会計決算報告がありました。続いて議事に移行し、第1号議案「2023年度運動方針(案)」を西村副委員長から提案。8名の代議員から本部分針賛成の立場で、組織強化対策や2023賃金確定闘争、コロナ禍での職場環境等について意見や要望があり、執行部より答弁後、全体で今後の課題を共有し満場一致で承認されました。第2号議案「2023年度組合費について(案)」第3号議案「2023年度各会計予算(案)」についても満場一致で承認されました。

その後、中央選挙運営委



▲退任の皆様、お疲れさまでした

その後、中央選挙運営委員から選挙報告がありました。事前の選挙で全役員が無投票当選が確認されましたが、規約に則り、常任中央執行委員11名の信任投票を実施しました。結果は全員が圧倒的な信任を得て、新体制をスタートすることにになりましたが、改めてわが組合の団結力を示すことができました。

第4号議案「2023年度特別中央執行委員の承認について(案)」第5号議案「2023年度統制委員の承認について(案)」第6号議案「2023年度中

委員・中央委員代理の承認について(案)」を渡辺書記次長から提案され、すべての議事が満場一致で承認されました。

その後、3本の決議文が泉田常任、萩原常任、高橋常任から上程され採択。また大会宣言(案)も渡辺書記次長から上程し採択。大会スローガンを全員で確認し、多田新委員長の力強い団結がばらうで大会は成功裏に終了しました。

新たに確立された運動方針のもとで今後一年間を闘っていきます。賃金・労働条件の向上はもちろんのこと、組織の発展と運動の前進を目指し、全組合員一丸となって頑張っていきたいと思います。制限がある中で大会開催となりましたが、参加された代表員の皆様に関しては、多大なるご理解・ご協力に対し、執行部一同感謝申し上げます。

最後に、今大会をもって、組合員の労働条件の向上と組織強化に努めてこられた江森委員長が退任されました。長年にわたり、先頭にあたってのご尽力に感謝を申し上げます。

(泉田 和明)



中央執行委員長 多田 修一郎

3月19日に開催された第93回定期大会において、中央執行委員長を務めることとなりました。東京清掃労働組合の中央執行委員長ということで、その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。新たな役員体制となり、新たな取り組みの発想も生まれてくることと思えます。全体で取り組むにあたっては、組合員のみならず、皆様のご意見もいただきながら、全体で議論し、東京清掃の民主的な運営に努めてまいります。

5月8日には、新型コロナウイルスについて感染法上の分類が変更されますが、単にコロナ禍前の運動に戻すということではなく、何のために取り組むのか、何が必要なのかということとを、一つ一つ議論し、意思統一を図りながら進めていくことが大切だと考えています。これまで、本当に大変な時期を組合員のみならず

が責任感と献身的な努力により、国民の衛生的な生活環境を守り続けてきたことが、清掃職員の日常的な必要性を社会的に認知させることとなりました。この話ができるというメリットがあります。65歳定年制において、人事院は60歳以降の賃金に向け給与カーブをなだらかにしていくと明言しています。こうした大きな変更を目前に控え、明らかに低すぎる特別区現業職員の賃金水準改善に向け全力を尽くしてまいります。

最後に、ロシアによるウクライナ侵攻や国内においても安全保障関連三文書も国民の真意を問うことなく閣議決定するなど、平和を脅かす動きは後を絶ちません。誰もが政治に関心でも無関係ではいられません。政治闘争も私たちの重要な取り組みです。

わが組合の課題は、多岐に亘り山積しています。こうした課題を克服していくためには、組合員全員の団結が欠かせません。今こそ組織の「総団結」をお願いし、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

ともに頑張りましょう！